

# 委員会視察成果報告書

令<sup>5</sup> 年 10 月 6 日

犬山市議会議長

柴田 浩行 様

議員名 ジャンキ 恵子

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	令5年 10月 3 日(火) ~ 令5年 10月 4 日(水) ( 1 泊 2 日)
(2) 視 察 地	青森県 藤崎町福祉協議会・青森県 和田市議会
(3) 視察の種類	常任・特別 委員会 (民生文教 委員会)
(4) 視 察 成 果 (視察地ごとに記入)	別紙
(5) 犬 山 市 に 対する提言	別紙



民生文教委員会 視察報告書 2023年10月3日(火)～4日(水) 2日間

報告日 2023年10月6日

所属： 無所属

名前： ビアンキ恵子

行先： 日程1日目 青森県藤崎町福祉協議会

青森県南津軽藤崎町大字常盤字富田70-1 電話0170(65)2056

日程2日目 青森県十和田市議会

青森県十和田市西12番地6番1号 電話0176(51)6781

【視察成果】 青森県藤崎町福祉協議会

社会福祉協議会における経営改革の取り組みについて

社会福祉協議会における人事考課制度の取り組みについて

社会福祉協議会の事務局長の成田全弘さんから説明を受けました。

まずは事務局長が大学卒業後、福祉協議会に所属され3年後には事務局長、現在に至るおよそ30年以上を経験されていたことにびっくりしました。

内容についてはたくさん取り組みをされています。

平成24年度介護サービス経営診断を実施・数字を見て大変な赤字経営に気が付き、あえて「藤崎町写経の赤字経営」を報告する。

経営コンサルタントに相談・アドバイスを受ける→コンサルタントは提案するがその提案に対して事務局長の判断が大事である。

職員面談を重ね職員の意識改革を進めていく。

特に職員が、会長や事務局長が何とかしてくれるという甘い考え方を払拭する、職員全員の気持ちを一致させることが必要。

経営分析シートを活用し経営分析→面倒くさい仕事であるがやるべき

新たな取り組みとして、訪問介護・通所介護事業を365日稼働

積立金を借金の取り崩しでなく、その積立金があるうちに、それを元手に何をするのかを考える。

行政からお金をもらうなら、行き当たりばったりでなく、もらう金額を決める。

日頃から事務局長がいなくても、誰でもが市民からの質問に答えられるようにする。

連携会議などがあれば、職員にわざと司会をさせる→勉強もし人に説明する能力も備わっていく。

社協のケアマネさんはレベルが違う、やっぱり社協のケアマネさんと思うようにする。

## 【犬山市に対する提言】

・一番大事なのは、事務局長をやれる人材確保。数年で変わっていく、ただの腰掛であっては、社協の体質を変えることは無理。

・たとえ行政から支援を受けても、それに比例する仕事ができる社協の職員になるならいいと思う。

・人事考課制度が「事務局部門」「介護保険事業部門」と分かれており、ただやるのではなく、それを利用して職員の意識向上につなげていくことが出来る。しかし必ずその人事考課をやったあと、一人ずつ職員に事務局長が個別面談する必要がある。それが出来ないならこの制度はただのペーパーワークに終わってしまうので、やるなら最後までフォローする体質を作るべき。

この機会に藤崎町社会福祉協議会事務局長の成田さんに、犬山の社協の皆さんへの勉強会として講演をお願いしたい。

## 【視察成果】 青森県十和田市議会 十和田市現代美術館について

始めに十和田市議会石橋議長から、大まかな十和田市の沿革の説明を受けました。今回の視察の大きな目的である官庁街通りに屋外空間をひとつに見立てた「Arts Towada」計画を実施し、十和田市現代美術館やアート広場などを整備されるまでの議会の反対、住民の反対からここまで来ることが出来た説明をして頂きました。

続いて、農林商工部と商工観光課から市の現代美術館についての詳細の説明を受けました。

事前の質問に対しての回答も頂きました。

### 1. 構想が生まれた過程

当時は議会で過半数が市長の構想に反対し、反対派が住民にアンケートをとり回答も80%が反対であった。しかし、当時市長の熱い思いで官庁街を名所として機能協会を因るため進めていった。

### 2. 芸術・美術に関して目指した姿は。

観光分野における「自然とアートを核に稼いで潤う観光地域づくりを掲げ、様々な取り組みを行っている。

### 3. 各国の芸術家の参加につながったきっかけは。

作家の選定方針において「欧米作家及びアジア諸国の作家も選定し、国際性あふれる作家選定とする」としていたから。

建設費の総合計が24億5000万円という膨大な事業

美術館 15億2,700万円

アート広場・ストリートファニチャー7億3,500万円

調査設計・ソフト事業1億8,800万円

美術館増築棟1億8,600万円

市役所で説明を受けた後、現代美術館と日本の道・100選に選ばれたシンボルロードも案内して頂きました。

#### 【犬山市に対する提言】

まずはこの予算が通ったことにびっくりでした。当時の構想として見習うべきは、大きな構想で官庁街通り全体を美術館と見立てた街づくりをしたところです。犬山に置き換えたとき、すでに市役所なども新築されているので、人が見たい、訪れたいという街づくりの参考として木曾川沿いに何かできないかと、考えます。ほとんどの旅館やお店がクローズしている中でそれが起爆剤になったらと考えます。

今回の視察の目的ではありませんでしたが、議長さんからの説明の中で、農業と観光に力を入れていると話されており、その中で国からの減反政策が示されたとき、すぐに米作りからんにんにく目をつけて方向転換させました。犬山では米作りの田んぼがやれる人が減少しているので、市として田んぼが他の農作物に転換するための政策を考えるのも良いと思う。

以上